



あだたらっ子

・進んで学習する子ども ・思いやりのある子ども ・最後までやりぬく子ども ・健康でたくましい子ども



まとめの時期です！

2月も半ばとなり、各学年とも1年間で学んだ内容の定着を図っています。現学年の内容が定着していると次の学年の学習もしっかりと理解できます。また、小学校での学習の土台をしっかりと築くことにより、中学校での学習もしっかり理解できます。家でも宿題や自主学習に取り組んでいると思います。ぜひ励ましの声掛けをお願いします。

伝統を引き継ぐために！

9日(木)に体育館で、6年生の皆さんに見守られながら、初めて来年度の鼓笛隊の編成で演奏をしました。緊張した面持ちでの演奏でしたが、子どもたちの心が一つになり、とても素晴らしかったです。正しくリズムを刻む大太鼓、シンバルをはじめとしたリズム楽器、鍵盤ハーモニカ、ベルリラなど美しい旋律を奏でるメロディー楽器、そしてカラーガードの演技、それぞれが自分のパートを責任をもって演奏、演技することにより、素晴らしいハーモニーが体育館に響きました。

練習が終わった後、6年生の皆さんが、「お疲れ様」「とっても良かったよ」と声掛けをしている場面がありました。さすが6年生だなと思うと同時に、このようにして伝統が引き継がれていくことを改めて感じました。

3月の移杖式まで、6年生の皆さん、優しく見守っててください。在校生の皆さんは、6年生に渡されたバトンをしっかり引き継げるよう、頑張っていきましょう！



百聞は一見に如かず！



21日(火)は、4年生が二本松市和紙伝承館で、紙漉き体験をしてきます。二本松市上川崎地区は、千年以上の歴史を誇る手漉き和紙の産地であり、その起源は、平安中期に冷泉天皇の時代に始められたと伝えられています。「みちのく紙」と称され、紫式部や清少納言たちに愛された「まゆみがみ」はここで漉かれたといわれているそうです。また、22日(水)は、3年生が消防署と警察署の見学に行き、施設の見学や質問をしてきます。実際に見学することによって、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えられるようになります。

「百聞は一見に如かず」ということわざがあります。大人も子どもも、言葉で聞くよりも、実際に見て、触れて、体験する方が理解が深まります。紙漉き体験などのように、地域のよさや伝統を学び、地域を理解することもできます。また、体験したことによって心が動かされ、自己肯定感や自己効力感を高めることができるので、まさに「体験に勝る学習はない」です。これからも体験学習を効果的に取り入れ、知識、そして心も豊かになる学習を進めていきたいと思います。



学力検査を実施しました！



16日(木)に国語と社会、17日(金)に算数と理科の学力テストを実施しました。今年度学習した内容の理解度や定着度について調べることが目的です。どの学年も真剣に問題に臨んでいました。結果が届きましたら、お知らせするとともに、日々の授業に生かし、今年度の学習内容が一人一人にしっかり定着するよう努めていきます。



今年度、最後のクラブ活動！



17日(木)に、今年度最終、6年生には小学校生活で最後のクラブ活動を行いました。子どもたちはクラブ活動が大好きです。学年や学級を離れて自分の興味関心を追及できること、また、同じ興味関心を持つ仲間との活動なので、伸び伸びと楽しく、そして工夫した活動が自主的にできるからだと思います。

本校には2つのクラブ活動があります。スポーツや体を使ったゲームなどに取り組む運動クラブ、自然や科学に関する実験や観察、工作を行う文化クラブです。両クラブ活動とも、6年生のクラブ長を中心として、非常に楽しく活動してきました。クラブは子どもたちの希望で創ることができまので、来年度は新しいクラブ活動ができあがる…かもしれません。



おめでとうございませす!

【第67回福島県書きぞめ展】 特選 3年 大内 湊仁 さん

【読書賞】

1年 スターリン シャーロット さん 3年 大内 湊仁 さん 5年 佐藤 羽胡 さん
2年 齋藤 心菜 さん 4年 齋藤 美樹 さん 6年 中川 詩花 さん



